

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 最終 )

郷原中学校区 校番 6 学校名 郷原小学

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A4 B1	○シンプルで取り組みやすいと感じる。 ●「学校評価にあげている目標、指標を全教職員が念頭に置いて日々の教育活動を展開しているか」と振り返る必要はないでしょうか。 ●「豊かな心」の目標や指標が具体的でないと感じる。
目標達成のための方策の適切さ	A5	○具体的で細やかであると感じる。 ○概ね評価しやすいと思います。 ○チャレンジタイムや放課後の補充指導の充実を図ることは今後も大事にしていきたい。
自己評価の結果の分析の適切さ	A5	○数値では見えない先生方の日々の努力を感じるので、未達成であっても評価したい。次へつながる具体的な分析・課題に期待する。 ○改善策につながる分析であると思います。 ●ふるさと郷原のよさを感じられる機会は(学習)、総合的な学習の時間(大単元)でなくても、「意識させよう」と教師が働きかければ醸成される機会はたくさんあるのではないのでしょうか。
今後の改善策(案)の適切さ	A5	○冷静な分析に基づき細やかで具体的であり、即実行できる策としてイメージし易いが、先生方の陰の努力は計り知れないと感じる。 ○教員同士で授業参観や実践交流を図る等、とても良い案だと思います。 ○次回、子供たち、先生方の「やったぞ」「できたよ」という笑顔の報告が聞けることを楽しみにしています。 ●廊下を歩きたくなるような廊下にリフォームしてはどうでしょうか。
その他		○目標、指標を設定し、目標達成の方策を立て、それに対するの評価・結果・分析、さらに今後の改善策等、先生方の御努力、御苦勞は充分感じ取れます。大変だとは思いますが、「郷原っ子」のために引き続きよろしく申し上げます。 ○どの学級も真面目に取り組み、板書(めあて)や掲示物も整っておりました。 ○全クラスの教室を見学でき、子供たちのやる気を引き出すために、努力されていることが分かりました。 ○廊下歩行の合言葉やバッジを生かした取組は継続と同時に、マンネリ化させないことも必要だと思います。 ○「業務改善」において、数値達成するまでの努力もあったかと推察致しますが、先生方のワークライフバランスの充実を保つことで、勤務へのエネルギーへと満たされますことを願っております。 ○SSS教員やICT教員が配置されて業務改善が進んでいることは喜ばしいことです。先生方が率先して笑顔でがんばってください。 ●学校に来にくい児童の取組は見えず、気になるところです。 ●図書室活用の提案ですが、開ける時間を増やして、長期休暇にも開放してはどうでしょうか。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価」の目標や方策等、定期的に確認し、全教職員の意識を高め、日々の教育実践を行う。</li> <li>・基礎基本の定着、表現力の向上を目指し、今年度の重点である「導入」「発問」「関わり」「振り返り」の工夫、補充学習の充実を図ることを継続実施し、研修等を通して、教職員の授業力も高めていく。</li> <li>・生活目標の重点化や合言葉の日常化を図ったり、学校環境を工夫したりする等、「廊下歩行」の意識を高めていく。</li> <li>・日常的に郷原のよさを声かけや働きかけを日常的に行いながら、体験的な学びや活動の充実を図ることで、ふるさとへの愛着を育む。</li> <li>・「健やかな体」の育成については、今までの取組を継続実施し、今後予定されている取組や行事等、地域や関係機関と連携を図りながら計画的に進める。</li> <li>・業務改善においては、「何でも聞ける」「何でも相談できる」風土の醸成、年間業務量の分析・改善に努める。</li> <li>・個の実態や状況に寄り添った声かけや働きかけをチームで充実させ、子供たちの居場所づくりに努めていく。</li> </ul>
--------------------	---